

# 重症児の在宅支援を担う医師等養成 インテンシブコース

## 2023年度 受講生募集

本コースは地域と連携して重症児の在宅医療支援を行える専門職を養成するために、「重症児のライフステージに応じた支援ができる」ことを目標にEラーニングとWebによるグループワークで構成されています。

事前にパソコンでEラーニングの視聴及びZoomによる会議ができる環境をご準備いただく必要があります。

コース開催予定

2023年10月1日(日)～2024年3月31日(日)

定員

80名

対象

在宅重症児の支援に関わっている（関わりたいと思う）方  
※医療福祉教育関係者など職種は問いません

募集期間

2023年9月7日(木)～9月24日(日) 消印有効

講義内容

- Eラーニングを用いた講義の事前学習・確認テスト
- 全4回のWebグループワーク（土曜日午後）+修了式・公開講座

受講料

20,000円（振り込み方法につきましては、受付完了後メールにてご案内いたします。）

募集方法

以下のHPから必要書類をダウンロードし郵送にてお申し込みください。  
URL <https://www.omu.ac.jp/med/pediat/>

※大阪公立大学医学研究科発達小児医学のHPのリンク「重症児の在宅支援を担う医師等養成プログラム」です。

※履歴書にご記入頂くメールアドレスは、パソコンの添付ファイルを受け取れる宛先でお願いいたします。

### コース概要

## Eラーニング講義 + Webによるミニ講義・グループワーク

日程

●Webミニ講座・グループワーク（各日14時～17時）

●修了式・公開講座

10/28(土)・11/18(土)・12/23(土)・1/20(土)

2/24(土)

計5回

目標

- 重症児について退院から地域での生活までを横軸で捉えることが出来る
- 重症児のライフステージに応じた支援について学び、実践できる

※修了証はEラーニングの確認テスト・講義のフィードバック・グループワークを全課程参加者に発行いたします。

### 問合せ先

「重症児の在宅支援を担う医師等養成事業」

大阪公立大学大学院医学研究科障がい医学・再生医学  
大阪公立大学大学院医学研究科発達小児医学  
国立成育医療研究センター総合診療部緩和ケア科

新宅治夫  
濱崎考史  
余谷暢之

連絡先

大阪公立大学大学院医学研究科小児科医局内  
インテンシブコース事務局  
〒545-8585 大阪市阿倍野区旭町1-4-3  
TEL: 06-6645-3816 Fax: 06-6636-8737  
E-mail: [gr-med-pnicu-ic@omu.ac.jp](mailto:gr-med-pnicu-ic@omu.ac.jp)

**E-ラーニング講義 (Moodleを用いた講義) 12項目**

※変更になる場合があります

1	重症児総論 重症児の実態、疾患別の病気の軌跡など	7	地域における支援の実際：訪問看護
2	重症児各論 呼吸・栄養など	8	地域における支援の実際：児童・放課後デイサービス
3	NICU からの退院支援の実際	9	行政の役割 大阪府の取り組みについて
4	医療ソーシャルワーカーについて	10	支援学校における医療的ケア児の生活 教育と医療との連携について
5	療育センターの役割と療育	11	重症児に関わる年齢別の社会制度
6	地域における支援の実際：訪問診療	12	重症児における意思決定支援

参加者自身で Zoom による会議ができる環境をご準備いただく必要があります。

## グループワーク

第1回	2023年 10/28(土) 14:00~17:00	グループワーク①	NICU からの在宅移行支援
第2回	11/18(土) 14:00~17:00	グループワーク②	さらなる医療介入が必要となる時
第3回	12/23(土) 14:00~17:00	グループワーク③	トランジションについて考える
第4回	2024年 1/20(土) 14:00~17:00	グループワーク④	看取りを見据えた支援について考える
第5回	2/24(土) 14:00~17:00	修了式・公開講座	(内容未定)

## 受講生の感想

**支援学校教員**

サポートを必要とする子どもや家族がより良いライフスタイルを選択できるよう、医療、福祉、教育など関係機関が連携し合うことの必要性を深く学ぶことができました。職種どうしの隙間を埋めるのは、それぞれが自分の枠組みを越えて手を伸ばしあった状態だと感じ、教育現場からも他機関へ積極的に働きかけていきたいと思っています。

**医療ソーシャルワーカー**

「絶対受けた方がいいよ、僕はこのコースに参加して、地域でどのように過ごすのかイメージができたし、子どもたちの色々な活動を支援する制度があると知って、ご家族への説明も違ってきたんだ…」と職場仲間からチラシを渡されて参加しました。ひとつの症例に対して、多職種で議論することができて、実践に即した学びが得られました。

## 郵送先

大阪公立大学大学院医学研究科小児科医局内  
インテンシブコース事務局

〒545-8585 大阪市阿倍野区旭町 1-4-3

E-mail : [gr-med-pnicu-ic@omu.ac.jp](mailto:gr-med-pnicu-ic@omu.ac.jp)

TEL : 06-6645-3816 Fax : 06-6636-8737